

10月企画 福島の現状は

福島を何度も視察し、援助活動をしている藤枝市の田端勉さん(避難者を支援する志太原(しばはら)住民の会会長)から、現地の除染推進課をして「除染をいくらやっても効果がない」と言わせてしまうほどの福島の現状をお聞きしました。

参加した方の感想
 働しようとはしていません。ぼつぼつと風力、水力、ソーラーなど自然エネルギーを利用して発電施設をつくっています。さすがドイツで災害は3・11の当時そのままでの状態です。放射能のため何も手をつけられずにいます。現地の人々はどんなに悔しい気持ちでいることでしょうか。

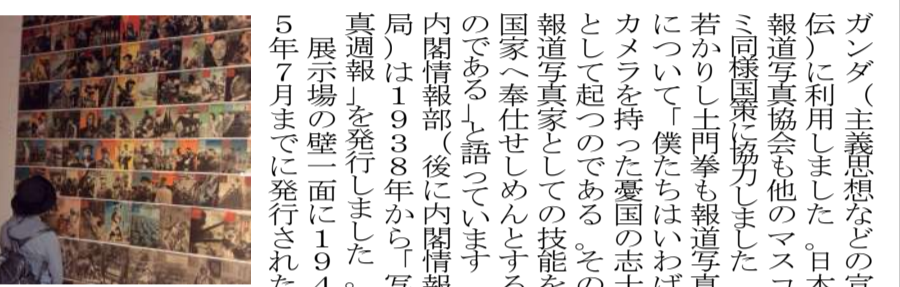
放射能汚染がない被災地では、住民が力を合わせお店を開いたり宅地を修復したり、なんとか復旧のめどがついてきました。ところが原発被災地では時間が止まったままです。それなのに原発を再稼働する日本。開いた口がふさがりません。イタリヤではチェルノブイリ原発事故のあと原発をなくしました。今「電気代が高い」とイタリヤ人は嘆いています。原発を再稼働

電所の電気は東京に送られ、こんな条件のいい日本なのに、原発を再稼働することを最優先する政府をどうしても許すことができません。この人たちは福島の現状を知っているのかしら？一度でも足を運んだことがあのかしら？疑問？疑問？再稼働を決める人たちは福島に行ってみてから決断をして欲しいです。浪江のことを、飯館のことを、福島の被災地を見て下さい。福島の被災地は東電の電気を使っていない。福島のために、報道写真をプロパ

東京の人々の暮らしに使われているのです。彼等は電気植民地なのです。机上の計画でなく、現実を知ることがどんなに大事か改めて思いました。目を開かせてくれた田端さんにとっても感謝しています。(UY)



戦後70周年特別企画展「戦争と平和一伝えたかった日本」開催中のIZU PHOTO MUSEUM(写真美術館)に行ってきました。日本の報道写真は1930年代には、日本文化を海外に紹介し、外国人を呼び込むための宣伝に使われました。当時、万博やオリンピックも予定されていた。ところが、日中戦争によって戦時体制が強化された日本は海外向けに強い日本のイメージを広め、国内向けには国民を戦争に向かわせるために、報道写真をプロパ



「IZU PHOTO MUSEUMでみたこと」

沼津高尾山古墳の保存方法は？
 卑弥呼の時代 貴重な文化財

今話題の高尾山古墳は愛鷹山麓の沼津市東熊堂にある。沼津駅北口からリコー通りを北上、新幹線にぶつかる手前に位置する。かつて後方墳墓の上に高尾山神社があったため高尾山古墳と命名された。普段は中に入れないが、熊野神社側からほぼ全容を見ることができ、許可を得て中に入り、古墳の全容を見る機会を得たので報告する。後方墳墓から北側を見る



墳墓の周りの環濠。手前の石碑は神社の名札類

とも重なる弥生時代の末期と推定されている。古墳は愛鷹山地南側の末端に位置し、今の交差点か

と新幹線の下を通り古墳まで道路ができています(国道246号線の延長)。南側は交差点で、さらに南に向かう道路が通称リコー通りだ。古墳には木棺が埋葬された。出土した折られた槍、割られた銅鏡、土に浸潤した朱(赤色の顔料)などの埋蔵物は片浜地区にある沼津市文化財センターに展示されている。

「チェルノブイリの祈り」(ストラナ・アレクシエービッチ 松本妙子「訳」 岩波現代文庫)
 一九八六年に起きたチェルノブイリ原発事故。本書は、今年ノベル文学賞を受賞したアレクシエービッチが長い年月をかけて二〇〇人あまりの被災者に取材したドキュメンタリーだ。著者は彼らの語

彼らの証言は、二十九年曝、妊娠していた彼女は医者からの警告を聞かず、死にゆく夫の病室に通い、子供は産まれて間もなく死んでしまう。机上の事件記事的な巨視的な見方は、しばしば個々の人の生を見逃してしまふ。「この本は人々の気持ちを再現したものです。事故の再現ではありません」と著者は記している。政府の沈黙と対照的に、その日チェルノブイリにいた二人一人の絞り出すような声がある。夫は事故処理に当たり被



本週便り(3) 問宮 緑
 『チェルノブイリの祈り』(ストラナ・アレクシエービッチ 松本妙子「訳」 岩波現代文庫)

370枚の表紙が貼られてありました。銃後を守る国民に呼びかけ総動員体制を作り、戦意高揚を煽る標語の数々が、プロパガンダとはこういうことだったのです。平和が脅かされている今こそ、過去を知らなければなりません。必見です。(S)

三島が生んだ童話作家、小出正吾先生を偲ぶ会が10月31日、三島市総合防災センターで行われました。主催は小出正吾児童文学顕彰会。会長の森野彌良氏と市長の挨拶に続き、小出正吾作品感想文コンクールに入選した市内の18人の児童を表彰しました。「のろまのローラー」「ぜつべき」「おうまが時」など、表彰されたいろいろな感想文の中から北小の佐藤希君が「ジンの音」、徳倉小の「市民ひろば」が入っている小出正吾の前にあります。

感想文コンクールの入選作品は12月中旬発行予定の「文芸三島」38号に掲載されます。(S)



竹林寺小路に面した黒い塀の小出正吾の生家

医者いらず アロエの効用(2)

アロエは万病に効くといわれ、昔から各家庭に植えられていました。災害時に役立つ植物として効用を見直してみませんか？今回は外用(つける、貼る)の効用と使い方を紹介します。(UY)

アロエには冷やす(熱をとる)作用があり、軽度のやけどや打撲、捻挫などに効果的です。外用でアロエが最も効果を発揮するのはやけどです。アロエチンが細菌の繁殖を抑制し、毒素を中和することで患部のケロイドを防ぎます。

アロエのトゲを切りとってかき取る。アロエのトゲを切りとってかき取る。アロエのトゲを切りとってかき取る。アロエのトゲを切りとってかき取る。



ひろばおすすめshop

干物はお買物のついでにスーパーで買ってしまう。魚留さんは天日干すか？魚留さんは天日干すか？魚留さんは天日干すか？魚留さんは天日干すか？

「魚留水産」の切り落としが五百円～六百円であり、夕食のメインディッシュにします。盆、暮れの地方発送の頃は店が大変混みます。先日長泉山荘(いづれ紹介)の帰りに立ち寄った



～ 市民ひろばからのお知らせ ～

12月のひろば企画
福島原発事故の刑事裁判
 /強制起訴について
 12月19日(土) 13:30～15:30
 会場：大社町別館1F 研修室
 ◎参加費 500円(予約なし 700円)
 講師：南守一樹 弁護士
 (国内初の原発訴訟担当弁護士)
 共催：市民ひろば、福島原発訴訟団・静岡原発震災を防ぐ風下の会

「日本と原発」連続上映会
 監督：河合弘之 弁護士
 上映時間：2時間15分
 12/12(土)・1/16(土)
 13:30～16:30 (13:00開場)
 ◎参加費 700円
 ※高校生以下無料！
 ◎リピーターは1回毎に200円割引

会場&主催 市民ひろば
 できるだけ予約を

予約&問合せ TEL 055-994-9211 FAX 055-976-2656
 メール yovaku@shimin-hiroba.org 携帯 090-3432-5718

★希望の牧場・ふくしま★
 被ばく牛を福島で生かすつづける
 吉沢正巳さんの
ベコトラ街頭アピール in 三島
 日時：12月19日(土)
 ・16:00～16:30 三島駅南口
 ・16:40～17:00 三島大社 大鳥居前
 ・17:10～17:30 イトヨカト前

吉沢さんのお話を聞く会 in 裾野
 日時：12月19日(土) 13:30～(資料代500円)
 場所：裾野市生涯学習センター3階学習ホール
 講師：希望の牧場主 吉沢正巳さん
 主催：旗幟からふさぎと子どもを守るために浜原雅之さん
 問合せ：999-6833名波・993-5930水口・992-3004森本

日本と原発 4年後
 日本と原発 続編完成！
 ただ今自主上映会募集中！
 - 新しく取材にお応え頂いた方々 -
 小泉純一郎/細川護熙/近藤駿介 他
 製作・監督：河合弘之
 構成・監修：海渡雄一
 音楽：新垣 隆
 2015年ドキュメンタリー/カラ
 三島で自主上映会しませんか？
 実行委員募集中！
 市民ひろばまでお問い合わせください

市民ひろばに 遊びにきませんか？
 ニュースや新聞、市の広報などを見て 気になることはありませんか？
 「これ知ってる？」
 「こんな話を聞いたけど、どうなの？」
 「近くに来たから寄ってみたいよ！」
 市民ひろばは、皆が自由に集まれる場所 お気軽に越してください！
 [開室日]毎週 月・木・土・日
 10:00～15:00 (原則)